

第2回 横浜市柏葉公園こどもログハウス指定管理者選定委員会会議録	
日 時	平成27年8月20日(木) 10時～11時30分
開 催 場 所	中区役所本館6階602会議室
出 席 者	佐藤響子委員長、近藤恵子委員、野澤誠一委員、古本悦子委員、松澤秀夫委員 (計5名)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開(傍聴者なし)
議 題	1 面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 会議の公開・非公開について 面接審査は公開し、審議は非公開とすること 2 指定候補者の選定について 柏葉公園こどもログハウスの指定候補者を一般社団法人中区民活動支援協会とすること
議 事	1 面接審査 【応募団体】一般社団法人中区民活動支援協会(現指定管理者) ア プレゼンテーション(10分) 応募団体から、団体概要・事業計画等について説明 イ 質疑応答(20分) (委員) 地元の自治会町内会との関係は良好か。 (団体) 地元の町内会長に地域連絡会の委員に就任していただいている。また、秋には公園のグラウンドを使用し、「ふれあいサッカーまつり」を開催しており、町内会に協力いただいている。 (委員) 子供会・青少年指導員・スポーツ推進委員等との連携事業について、どのように考えているか。 (団体) 地域連絡会の委員からは、行事よりも来館した子供たちの見守りに力を入れるよう助言をいただいている。行事は、季節に合わせたものを月1回程度開催している。 (委員) 平日の来館者数、近隣の小学校との連携について確認したい。 (団体) 10～20名程度となっている。近隣の小学校には、課外授業等で活用していただいている。また、学校と連携し、子供の日常の様子を見守りをしている。 (委員) スタッフの体制、子どもへの関わり方、基本姿勢について確認したい。 (団体) 近年は子育て経験のあるスタッフが継続的に勤務している。ログハウスは子どもの自主性、創造性を高める場であるため、スタッフは見守りを基本姿勢としている。 (委員) 事業計画書に「日本古来の遊びや伝統文化を伝承してまいります。」とあるが、どのようなことを考えているのか。

	<p>(団体) 独楽や羽根つき等、正月の遊びを季節に合わせて実施したいと考えている。</p> <p>(委員) ログハウスには、日本古来の遊びや伝統文化を伝承していくために必要な用具は備えてあるのか。</p> <p>(団体) ログハウス以外の施設で備えている用具を融通するなど工夫したい。</p> <p>(委員) ログハウスは、どのように中区及び区民に貢献できると考えているか。</p> <p>(団体) 子どもたちが天気に関係なくアウトドア感覚を学べ、創造性のある遊びを体験できる場所としてログハウスは貢献していると考えている。</p> <p>(委員) 近隣の訓盲学院との関係はどのようになっているのか。</p> <p>(団体) 訓盲学院とは、花の世話・手入れなどで交流している。また、課外体験として活用していただいている。</p> <p>(委員) 団体の財務状況について、収益は増加している一方で利益が減少している理由は何か。</p> <p>(団体) 収入の増加に伴う納税額の増加が要因と考えられる。</p> <p>(委員) 今後、利益幅がマイナスになるおそれはないのか。</p> <p>(団体) 消費税の増税分については市から補てんがある。また、人件費を賄うことができれば問題ないと考えている。大規模な修繕の修繕費については、市が負担する。</p> <p>2 応募団体の財務状況及び資格要件の照会結果について報告</p> <p>事務局から、応募団体について、市税等の納付状況を確認し、暴力団排除措置に伴い神奈川県警に照会した結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、税理士による財務状況審査の結果、応募団体の財務状況は、指定管理期間中の施設の管理運営に支障はないと判断された旨を報告した。</p> <p>3 指定候補者の選定</p> <p>委員による評点を集計した結果、応募団体は最低評価基準（300点）を満たしていたため、柏葉公園こどもログハウスの指定候補者は、一般社団法人中区民活動支援協会（得点：455点／500点）とすることが決定された。</p> <p>4 その他</p> <p>選定経過・結果を区長に報告することについて、了承された。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>なし</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>